

2018年平昌オリンピック・パラリンピック冬季競技大会の概要

	第23回冬季オリンピック	第12回冬季パラリンピック
大会期間	2/9 (金) ~ 2/25 (日) (17日間)	3/9 (金) ~ 3/18 (日) (10日間)
競技種目	7競技102種目 スキー、スケート、アイスホッケー バイアスロン、ボブスレー、リージュ、カーリング	6競技80種目 アルペンスキー、バイアスロン、クロスカンリースキー スノーボード、アイスホッケー、車いすカーリング
参加選手総数	2,925名 (92か国・地域) ※2014年ソチ大会時は2,780名	570名 (49か国・地域) ※2014年ソチ大会時は547名
日本選手団	269名 (選手124名、スタッフ145名) ※2014年ソチ大会時は248名 (選手113名、スタッフ135名)	86名 (選手38名、スタッフ48名) ※2014年ソチ大会時は55名 (選手20名、スタッフ35名)
競技会場	雪上競技：平昌（ピョンチャン）マウンテンクラスター（7会場） 氷上競技：江陵（カンヌン）コースタルクラスター（5会場）	

平昌オリンピック競技結果

平昌オリンピック大会結果と過去5大会の比較

大会	金	銀	銅	小計	4位	5位	6位	7位	8位	小計	合計
2018/平昌	4	5	4	13	3	10	7	4	6	30	43
2014/ソチ	1	4	3	8	3	8	4	1	4	20	28
2010/バンクーバー	0	3	2	5	1	6	2	5	8	22	27
2006/トリノ	1	0	0	1	5	1	4	5	5	20	21
2002/ソルトレイクシティ	0	1	1	2	3	5	5	5	7	25	27
1998/長野	5	1	4	10	2	8	5	6	2	23	33

平昌オリンピック競技大会結果（競技別メダル獲得数）

競技/種別	メダル内訳	計
スピードスケート	金3 銀2 銅1	6
フィギュアスケート	金1 銀1 銅0	2
スノーボード	金0 銀1 銅0	1
ノルディック複合	金0 銀1 銅0	1
スキーフリースタイル	金0 銀0 銅1	1
スキージャンプ	金0 銀0 銅1	1
カーリング	金0 銀0 銅1	1

平昌パラリンピック競技結果

平昌パラリンピック大会結果と過去5大会の比較

大会	金	銀	銅	小計	4位	5位	6位	7位	8位	小計	合計
2018/平昌	3	4	3	10	4	2	1	2	4	13	23
2014/ソチ	3	1	2	6	2	2	6	7	3	20	26
2010/バンクーバー	3	3	5	11	2	4	4	4	2	16	27
2006/トリノ	2	5	2	9	3	6	4	1	1	15	25
2002/ソルトレイクシティ	0	0	3	3	3	7	3	11	8	32	35
1998/長野	12	16	13	41	11	19	16	12	10	68	109

平昌パラリンピック競技大会結果（競技別メダル獲得数）

競技/種別	メダル内訳	計
アルペンスキー	金1 銀3 銅2	6
クロスカンリースキー	金1 銀1 銅0	2
スノーボード	金1 銀0 銅1	2

オリンピック・パラリンピック競技大会等に向けた国際競技力の向上

オリンピック・パラリンピック競技大会をはじめとする国際競技大会における我が国のトップレベル競技者の活躍は、国民に夢や感動を与え、明るく活力ある社会の形成に寄与。このため、世界で活躍できる競技者の育成・強化を積極的に推進。

トップアスリートの強化活動の支援

競技力向上事業

- ・各競技団体が行う日常的・継続的な選手強化活動を支援
- ・2020年東京大会等で活躍が期待されるアスリート発掘への支援等

ハイパフォーマンス・サポート事業

- ・メダル獲得が期待される競技をターゲットとして、多方面から専門的かつ高度な支援を戦略的・包括的に実施

我が国のトップアスリートの活躍



Photo by AFLO SPORT (JOC提供) Photo by 有限会社エックスワン (JPC提供)

競技者を多方面から支援



Photo by 有限会社エックスワン (JPC提供)



Photo by JOC (JOC提供)

支援

支援

トップアスリートのための強化・研究活動等の拠点構築

ハイパフォーマンスセンター

国立スポーツ科学センターとナショナルトレーニングセンターが持つ機能を一体的に捉えた拠点

国立スポーツ科学センター(JISS)



- ・スポーツ医・科学研究、スポーツ医・科学・情報サポート、スポーツ診療などを実施

ナショナルトレーニングセンター(NTC)



- ・トップレベル競技者が集中的・継続的に強化活動を行う拠点
- ・オリパラ共同利用を見据えた拡充整備を実施中

連携

NTC競技別強化拠点施設活用事業

- ・冬季、海洋・水辺系、屋外系競技、パラリンピック競技などについて既存施設を活用し、NTC競技別強化拠点として指定

ハイパフォーマンスセンターの基盤整備

- ・ハイパフォーマンスに関する情報収集・分析や競技用具の開発等に係る機能を強化
- ・関係機関間の連携を促すプラットフォームを整備

平昌2018オリンピック・パラリンピック冬季競技大会における 「ハイパフォーマンス・サポートセンター（HPSC）」の概要

※スポーツ庁から（独）日本スポーツ振興センターに委託して設置

【HPSCの設置目的】

アスリート、コーチ、スタッフが競技へ向けた最終準備を行うための医・科学・情報サポート拠点として設置。

【開設期間】

オリンピック：2月4日～25日（参考）開村日/2月1日 開会式/2月9日 閉会式/2月25日

パラリンピック：3月4日～18日（参考）開村日/3月3日 開会式/3月9日 閉会式/3月18日

※ オリンピックについては、選手村が設置される山側と海側の2か所に、パラリンピックについては選手村が設置される山側1か所にHPSCを設置。また、パラリンピック冬季競技大会においては、初めての設置となった。

【利用対象者】

日本代表選手団の選手、コーチ及びスタッフ

【設置する主なサポート機能（競技団体の要望を踏まえて設置）】

- **コンディショニングミール**
試合前調整期から試合期の疲労回復、体調管理等、個々のコンディショニングに対応できる食事を提供
- **リカバリーミールボックス**
試合（練習）前後、試合（練習）中のリカバリーを目的とした持ち出し用補食を提供
- **ケア・メディカル**
マッサージベッドおよび各種物理療法機器等を設置し、ケアを行える環境を提供するとともに、医師が常駐しコンディショニングに関する医療相談を実施
- **リカバリープール**
温水・冷水のプールを設置し、交代浴等を実施できる環境を提供
- **トレーニング**
フリーウェイト、ストレッチスペース等のトレーニング環境を提供
- **その他**
ミーティングスペース、リラックススペース等を提供